

---

# 夜奏舞曲

澁野凌

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夜奏舞曲

### 【Nコード】

N4872V

### 【作者名】

澁野凌

### 【あらすじ】

サイトから転載。

屋根裏部屋での人形とお月さまのお話。

(前書き)

青い光の中でのお話。

どこか古い屋敷の屋根裏部屋。

物は散乱、最近人が入った様子も見当たらない。

天井には天窓があり、月の光が全てに降り注ぐ。

そこに、高く微かな音色。

壊れかけたオルゴールの調子外れの曲。

早く、遅く、遅く、また早く。

側には薄汚れた人形が一つ。

水色の髪は乱れ、白いレースの服は破れかけ。

それでも、青の硝子の瞳は輝きを失わない。

月光を受け、煌いた。

月夜に人形は命を纏い、

オルゴールが奏でる曲に合わせ、

唄い、

踊り狂う。

『今宵だけの命』

だと、長引く事は許されない。

淋しい部屋のセルロイドの舞姫を、空の月はそっと見ていた。

青白く淡く深い光に照らし出され、美しく舞う彼女。

叶うならもう少しだけ彼女の側に

出来ぬならば、せめてその姿だけでも。

『今宵だけの命』

なら、少しでも長く照らし続ける。

私は貴方が見守ってくれるから……

私は君が踊り続けるから……

けれど

互いの距離は遠く、

想い合っている事さえ永遠に知ることには無いのだろう。

夜が繋がった儂く確かで愛しい物語

(後書き)

なんだか昔に書いたものの、イメージと舞台は未だに好きな作品。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4872v/>

---

夜奏舞曲

2011年10月9日04時29分発行